

～はじめに～

濱本社長をリーダーに当社の女性活躍推進プロジェクトでは、平成28年度に「管理職向け研修」「女性社員向け研修」を行います。

【研修内容】

- ・「管理職向け研修」 ワーク・ライフ・バランスと経営戦略
- ・「女性社員向け研修」 キャリアビジョンと働き方を考える

研修で講師を務める株式会社キャリア研究所の園田先生と女性活躍推進プロジェクトのメンバーの勉強会、そして園田先生と濱本社長の対談を平成28年7月26日に行いました。

この対談で少子高齢化の日本において、今後、当社が取るべき対策・あり方など濱本社長の“想い”を語ってもらい、その内容を全社員へ発信するためにこの冊子を作成しました。

不動技研工業株式会社 女性活躍推進プロジェクト

園田 博美 (株式会社キャリア研究所 代表取締役)

大手英会話学校に入社。大阪、広島、熊本、福岡でスクールマネージャーとして勤務し営業や広告と学校運営を経験。社員の採用、研修、人事考課に携わり、翌年、最優秀幹部賞を受賞。毎月の決算報告会のための学びを通し、企業の経営視点を養う。

派遣会社へ転職。前職で養われた経営視点が評価され、最年少取締役就任。現場主義をもとにコーディネーターとしての業務の傍ら、ビジネスマインドを確立。

現在、キャリアコンサルティング業を設立。キャリアデザイン（開発）とワーク・ライフマネジメントの視点から、人と組織の活性化支援を中心に、企業の人財育成研修、若年者の求職支援に取り組む。

- ・厚生労働省指定キャリアコンサルタント (CDA)
- ・(株)ワーク・ライフバランス社認定加盟コンサルタント
- ・国家資格 2級キャリアコンサルティング技能士
- ・米国NLP協会認定NLPマスタープラクティショナー
- ・日本キャリア開発協会認定ピアファシリテーター
- ・ダイバーシティファシリテーター



園田先生 濱本社長

社長の“想い”を聞いてみよう！

「全社員活躍企業」とは？

株式会社キャリア研究所
代表取締役 園田 博美



不動技研工業株式会社
代表取締役社長 濱本 浩邦

平成28年7月26日



対 談

女性活躍推進プロジェクトについて

園田： 社内に女性活躍推進プロジェクト（以下：プロジェクト）を起ち上げられた目的は何ですか？

濱本： 女性活躍推進法が制定されたこと、そして、もっと女性社員が活躍することは会社の発展に繋がると思ったからです。

園田： 女性活躍推進となると女性だけを集めるところが多いのですが、社長がリーダーとなり、プロジェクトメンバーに各事業所の所長も入り、男性が半数以上を占めていることは非常に良い取り組みだと私は思います。今後、どのように御社が変わっていくのか楽しみです。

プロジェクトの取り組み

濱本： まず、現状を知るために、全女性社員に意識調査のアンケートと女性のプロジェクトメンバーによる個別面談を行いました。

園田： それは、素晴らしいことですね。そこから見えてきた課題はありましたか？

濱本： やはり、男性社会であるということ、そして女性社員自身の意識の低さが課題だと感じました。

園田： 今後は、どのような取り組みを進めていこうとお考えでしょうか？

濱本： 今年3月、労働局に提出した女性活躍推進法の行動計画は、年間採用数の3割以上を女性にすると掲げました。まずはこれを達成したいと思います。また、当社の育児短時間勤務制度は、これまで3歳になるまでしか利用できませんでした。それを平成28年10月から、小学校入学前まで利用できるように運用予定です。

園田： 他の会社・組織では、制度は整っているけどなかなか利用できる環境ではない、という声を聞きますが。

濱本： 当社の場合は、ある程度は利用しやすい環境だと思います。出産後も復帰している女性社員も多いので。

園田： 女性社員と男性社員の働き方の違いは、ご自身のライフステージによって仕事への力のかけ方が変わってしまうところだと思います。そこも考慮されて、ブランクがあっても、また自分の活躍の場があるということは、すごく魅力的ですね。その他の取り組みについて、何かお考えはありますか？

濱本： 女性社員が活躍しやすい風土づくりのため、管理職の意識改革の教育や制度を整えていきたいと思っています。

園田： 風土と制度を整えていくというビジョンのもと、女性活躍推進プロジェクトを起ち上げ、改革を進めていくということですね。

「全社員活躍企業」を目指して

園田： 女性社員を活躍させていくことで、今後どのような会社にしていきたいとお考えですか？

濱本： 男性・女性、日本人・外国人、若者・中高年齢者など問わず活躍できるような「全社員活躍企業」を目指したいです。

園田： まさにダイバーシティ企業ですね。多様性のある社員たちのそれぞれの能力や個性を発揮させていくということで「全社員活躍企業」ということですね。

濱本： 以前は、「会社がこうだからこうなさい」というベクトルを合わせていくことが主流でした。しかし、この多様化した社会で生き残っていくには、男女という外面的な違いや、価値観・能力のような内面的な違いも受け入れて働くことができる組織を作っていくことが必要だと考えます。

「女性活躍」の本来の意味

園田： 「女性活躍推進」という言葉が出るようになって、女性たちからは「なんで私たちだけ？」という声が他の会社でもあります。その点については、どのようにお考えですか？

濱本： 「女性活躍推進」とは、女性のためだけにあるものではなく、男性も含めた組織全体で考えていく必要があると研修など受講して学びました。また、園田先生の勉強会で学んだように、少子高齢化と共働きが主流となってきた現在、今後5～6年後は、介護問題に直面する人が多くなることがわかりました。これを機に介護に関する制度は、女性に限らず誰もが利用しやすいように社内風土を変えていく必要があると思いました。

園田： 「女性活躍推進」というネーミングだと、どうしても女性だけに注目しているイメージを与えてしまいましたが、本来「女性活躍推進」は、組織として働きやすくしていくことです。そして、生産性を高めていくことで、経営戦略として成り立たせていくことなのですが、どうしてもその本質が理解されていないままだと思います。

濱本： 園田先生の勉強会で学び、理解したことは、各事業所の所長がその下の課長クラスに伝えていくことが必要ですね。さらに、本質を理解してもらうためには何が必要か考えていくことが重要だと思います。

～対談を終えて～

園田先生との会話のキャッチボールが何度も繰り返されるうちに、当社において、女性社員の活躍を推進していく重要性や大切さをさらに強く認識することができました。

性別、年齢、国籍に関係なく、能力のある社員がその適性に合ったポジションで、伸び伸びと今以上の実力を発揮できるような企業へと、さらに成長していけるように、これからも真摯に努力を継続していきます。

不動技研工業株式会社
代表取締役社長 濱本 浩邦